



NEWS

Hello Summer



第55回体育祭

テーマ 獅子奮迅

日時：令和元年5月18日(土)

場所：本校グラウンド

今年度のテーマは、「獅子奮迅」でした。獅子のように仲間と協力し合いながら、激しく動き回り、一生懸命戦って全力で楽しむという意味であり、5・6年生の応援団執行部が決めたテーマです。予報では雨で、当日開催が危ぶまれましたが、プログラムを一部変更し、体育祭を行うことができました。今年度は10連休で、集団演技の練習時間が充分ない中で、何度も練習を繰り返し、本番では揃った演技を披露することができました。紅白種目では、白熱した勝負が続き見ごたえのある勝負の末、「白組」の優勝で幕を閉じました。応援団や各競技・演技においては、学年・男女に応じた生徒一人ひとりの成長や日頃の練習の成果がよく感じられる体育祭となりました。



紅組 応援団長 正木 大敬 (6年5組)

雨の中、1年生から6年生まで全員で応援し、とても楽しく盛り上がる事ができた体育祭となりました。残念ながら紅組が負けてしまいましたが、良い思い出になりました。応援団では、春休みから活動し、体育祭テーマやダンスの振り付けを自分たちで決めるなど全員でたくさんの練習をしてきました。何か困ったことがあれば意見を出し合い、悩み、支え合いながら全員で乗り越えていくことで、仲間の大切さと偉大さに気がきました。頑張ってきたこの3か月間は忘れられない最高の思い出です。少しでも興味がある人はぜひ応援団に入ってみてください。



白組 応援団長 大城 さらら (6年3組)

春休みから準備をはじめ、執行部や団員と、時には厳しく普段は楽しく活動してきました。そして、演舞やダンスの練習を積み重ねることで、最高の形で体育祭を盛り上げることができ、優勝することができました。団長としての責任感を肌で感じ、くじけそうになった時に支えてくれた仲間の大切さを改めて感じ、体育祭は全員で作上げるものであると思いました。最後に、応援団や先輩、友達、先生方には感謝しています。ありがとうございました。



対面式 まだ緊張した様子



和太鼓の披露(歓迎会)



大迫力のハカの披露(歓迎会)



創造国際「rice ball & miso soup」の授業



一緒に昼食



昼休憩も一緒に



国語「習字」の授業



数学「SOROBAN」の授業



原爆ドーム前

今年度はニュージーランドのパサデナ中学校から、25名もの留学生を迎えました。パサデナ生は、本校生徒の家にホームステイしながら学校に通い、一緒に授業を受けたり、書道やうどん作りなどの日本文化を体験したりと、充実した1週間を過ごしました。

歓迎会では、文化の紹介や特技の披露によって、最初は緊張した面持ち

だった両校生徒も、お互いに対して親しみを持つようになりました。異文化で暮らす、同年代の友人と積極的にコミュニケーションをとることで、お互いに刺激し合っていたように思います。

7月には本校の生徒がニュージーランドへ留学します。再会したときにより成長した自分を見せることができるよう、今力を入れて事前学習に取り組んでいます。

最初は言葉の壁が不安で緊張しましたが、日を重ねるうちに互いに慣れてきてフレンドリーに話ができるようになり良かったです。しかし、自分の交換留学はまだ終わっていません。今度はニュージーランドに行って2週間という期間を過ごします。英語のシャワーを沢山浴びるとは思いますが、その不安を元気に変えて交換留学をバディのIrisと最高の思い出にしたいです。

2年1組 高田 侑季

パサデナ委員を務めてみて、責任感を持つことができました。みんなの前で英語の司会をすることにはじめは躊躇していましたが、委員だけの集まりや練習を通して、自分がやるのだと思うようになりました。このパサデナ交換留学という行事をきっかけに、新しいことに挑戦することができ、今は達成感でいっぱいです。今後も積極的に様々な事に挑戦してみたいと思いました。

2年1組 前田 思実

1週間生活を共にしたので、本当の家族のように親しくなれました。最初は意思疎通が困難でしたが、互いに理解しようとジェスチャーでも何でも使って話そうと努力をしました。Milaを楽しませるために計画を立て、いつもより人のために頑張った1週間でした。Milaだけでなく、他の留学生とも話すなど多くのコミュニケーションを取りました。ハカやポイなど興味深く、伝統的なマオリの文化にも関心が持てました。7月に向けて英語の勉強を頑張りたいと思います。

2年3組 今村 友理奈

とても優しく、温かいパサデナ生に少しずつ心が開いていくように感じました。歓送会の頃には離れたくないと思うほどパサデナ生のことが大好きになっていました。一緒に受けた授業、一緒に遊んだ時間は私たちの宝物です。またどこかで会えたらいいと思います。パサデナ生と日本の文化に関する授業を受けたことで、私も日本の文化について考え直すきっかけができ、互いにとって良い授業であったと思いました。ハカの迫力も英語の発音も驚きばかりでしたが、今回の交換留学がないとこれらの経験は出来なかったと思うので、パサデナ生とのこの出会いに感謝したいです。

2年4組 宮郷 結愛

場所：本校・広島工業大学沼田校舎

1日目は、シェルホールで校長より「なぎさ学」の講話をいただきました。本校の歴史や他校では見られない本校校歌の特徴も教わりなぎさ生としての自覚を高めていきました。その後、広島工業大学沼田校舎へと場所を移し、体幹の重要性や姿勢づくりの大切さを学びました。2日目は、クラスごとに乗馬体験、NAP(Nagisa Adventure Program)、大縄跳びを行いました。1泊2日の生活の中で、集団では「良きマナー」を合言葉に規律ある行動を心がけ、お互いを知り親睦を深めることができました。また、食事や掃除などみんなで声を掛け合って協力し、仲間を気遣う姿も随所に見られました。この経験をこれからの学校生活に活かし、実りある6年間を過ごしてほしいと思います。

オリゼミを終えて、僕は、次に利用する人のことを考え、友達と協力する良きマナーの大切さがよく分かりました。

トイレを使った後でも、次の人のことを考えて、友達と声をかけ合ってスリッパを揃えました。特に次の人のことを考えたのは、宿泊した部屋の最後の掃除の時です。来たときよりも美しく、次の人がより気持ちよく使えるよう、班のみんなで協力して片付けることができました。公共の場では、特にルールやマナーをしっかり守って利用すべきであることを改めて実感できました。

1年1組 川上 拓光



NAP



乗馬体験

教育実習生

卒業生が本校へ教育実習生として帰ってきました。実習生は3週間という短い期間の中で様々な経験をしながら、大きく成長した姿を見せてくれました。



井上 直哉
広島市立大学 芸術学部
(2015年度卒)

教育実習生として母校に帰ってきて

最初は、4年前まで「井上君」と呼ばれ授業をしていただいた先生方に「井上先生」と呼ばれるだけで、とても緊張していました。生徒としてみるこのなぎさと、先生としてみるなぎさとは、見える景色が大きく違い、戸惑うことも多くありました。そんな私を優しく助けて下さった多くの先生のお心遣いにより、3週間教育実習生として充実した学びの時間を過ごさせていただきました。学校で学ぶ時間をできるだけ楽しいものにしようとしてくださるなぎさの先生方は、さすがだと思わずにはいられませんでした。

後輩のみなさんへ

まずは感謝の言葉から言わせてください。私の教育実習が素敵な思い出として記憶に残ったのは、みなさんのおかげです。本当にありがとうございました。一人ひとりがあるのままに、自然体でいてください。自分の本当にやりたいことは、そこから開けていくと私は思っています。

これからみなさんがどういう人になっていくのか楽しみです。



青山 早智子
琉球大学 教育学部
(2015年度卒)

教育実習生として母校に帰ってきて

お忙しい中、たくさんの先生方に丁寧なご指導と励ましの言葉をいただき、大変感謝しております。温かく受け入れてくださり、なぎさは「帰って来ることのできる」場所なのだとこれまで以上に感じることができました。今回、教育実習生として、先生の職務の一部に携わり、授業の問いつを取っても言葉の選択やタイミングなど、様々な要素が組み合わさっており、教育の奥深さを学びました。これから大学に戻り、実習での学びをさらに深め、技術として身につけられるよう、努力していきます。

後輩のみなさんへ

実習生である私を先生として受け入れてくれて、ありがとうございました。後輩のみなさんには、「どんな自分になりたいか」具体的に考え、なりたい自分になっているか、と時々振り返ってみてほしいと思います。大きな壁にぶつかることもあります。前述したようになぎさは「帰って来ることのできる」場所です。在校中はもちろん、卒業後も支えてくださる先生がたくさんいらっしゃるの、安心して様々なことに挑戦してください。遠い場所からではありますが、応援しています。

2年 | みよし風土記の丘



満開の桜のもと、生徒たちは班活動でウォークラリーを行いました。広島歴史民俗資料館では、展示されている原始・古代の出土品をスケッチし、展示に沿った問題を解くことで歴史を感じ、多くの学びを得ることができました。ウォークラリーの問題を解くという目的を共有することで班員の仲も深まったように思います。

3年 | 宮島弥山



平日にも関わらず、多くの観光客で賑わいを見せる宮島での遠足のため、学年を前半、後半と分けてのスタートとなりました。頂上への道のりは険しいものでありましたが、生徒は元気一杯で、予定より早いペースで登ることができました。さすがに頂上では疲れた様子でしたが、素晴らしい景色がそれを癒やしてくれるようでした。

4年 | もみのき森林公園



班のメンバーそれぞれが食材を持ち寄り、バーベキューを行いました。みんなで協力して火をおこし、出来上がったバーベキューの味にみんな大満足の様子でした。たくさん話をして、たくさん食べて、非常に楽しい時間を過ごし、新しいクラスのメンバーと親睦を深めました。

5年 | しまね海洋館アควアス



しまね海洋館アควアスにて、生徒たちはシロイルカのトレーニング講座やサメのバックヤード見学、ピーチコミングなどの5つのコースにわかれて、普段は触れることのない海の生き物について学び、触れ合いを楽しみました。

6年 | 尾道



桜が満開の尾道を各グループで歩きました。天気も良く、尾道の新旧さまざまなスポットを見学し、尾道ラーメンやスイーツを食べ、あっという間に集合時間となる楽しい時間を過ごすことができました。

新高校生徒会役員



■ 文化部長 白石 託未

文化部長の仕事としては、主に文化祭での仕事があります。私は文化祭を、来場者の方々も生徒のみなさんも両方がワクワクするようなものにしたいと考えています。より良い行事となるよう、1年間頑張ります。

■ 運動部長 井上 智尋

昨年1年間生徒会活動に携わり、行事の運営などで重要な役割を果たしている生徒会役員として責任感を持てるようになりました。昨年の反省を生かして、今年も精一杯努めてまいります。

■ 風紀委員長 堀内 彩美

初めてなのでわからないことだらけですが、風紀委員長の名に恥じぬよう、生徒会役員の方々と協力して頑張ります。1年間よろしくお願いします。

■ 美化委員長 遠山 琢哉

私は、美化委員長として学校内がいつも綺麗であるように努力をしています。みなさんにご協力をお願いすることがあるかもしれませんが1年間どうぞよろしくお願いします。

■ 生徒会長 林 莉子

私は、中学2年生の時から生徒会に携わってきました。昨年度は文化部長として、普通の部活では経験できないような、やり甲斐や達成感を味わい、私自身成長することができました。その経験を活かし、今年度は役員全員で今まで以上に最高の行事ができるよう努めてまいりますので、1年間よろしくお願いします。

■ 副会長 大朝 麻琉人

私は生徒会に在籍して今年で3年目になります。その経験を活かし会長を全力でサポートしていきたいと思います。1年間よろしくお願いします。

生徒会長	林 莉子 (5-1)	書記	後藤 正孝 (5-4)	会計監査	吉本 拓海 (5-6)	運動部長	井上 智尋 (5-4)
副会長	大朝 麻琉人 (5-5)	会計	上杉 颯史 (5-6)	武田 悠作 (4-3)	風紀委員長	堀内 彩美 (5-4)	
書記	笹川 京香 (5-3)		谷口 棕亮 (4-6)	文化部長	白石 託未 (4-3)	美化委員長	遠山 琢哉 (5-2)

中村 優希

東京大学 文科一類

地理

私が地理の苦手意識を克服するために夏休みに取り組んだ事を紹介します。
私が目指していた東京大学はセンター試験、二次試験共に社会は2科目あり、特にセンター試験では得点率9割以上が望ましいのですが、私は5年次から地理の得点が5割から6割の間で伸び悩んでいました。私はセンター試験という基本的知識を問う問題ができなければ二次試験という応用問題はできないと考え、夏休みには、既習範囲の再確認をかねてセンター試験の過去問に集中的に取り組みました。時間が限られているなかで意識したのは密度の高い勉強をすることです。一度解いた後は丸付けをして解説を熟読し、少しでも疑問点があれば教科書や資料集で調べ、先生に質問して解決しました。特に解説には参考になる情報が多いので、予備校の解説集等を積極的に活用した方がよいと思います。

石倉 寛治

大阪大学 工学部 応用理工学科

数学

私は、数学の力を伸ばすのにはとにかく多くの問題に触れ、問題のタイプ別の解法パターンを身に付けることが大事だと思います。私が6年の夏に使った問題集は重要問題集です。重要問題集はA問題とB問題に分かれているのですが、私は夏の間に全単元のA問題に一通り取り組みました。私の取り組み方は、わからない問題に時間をかけすぎず、長くても10分から15分考えて、全く解法が浮かばない場合は答えを見て理解した上で2、3日後にもう一回解いてみる、というものです。できない問題に時間をかけすぎないことで、できないままダラダラと問題に取り組む時間をなくし、多くの演習量をこなすことにつながります。また、全単元の入試に出やすい(解けてほしい)問題の解法パターンをある程度習得できます。この夏で数学の苦手克服は一定のところまでは十分可能なので、諦めることなく頑張ってください。それでも、入試は総合力が大事なので、数学だけでなく、得意教科を伸ばすような勉強も忘れずに取り組んでください。

小谷 奈々

広島大学 薬学部 薬学科

化学

私が特に苦手だった教科は、化学でした。塾にも行っていましたが、やはり一番大切にしたのは学校の授業です。夏休みに入って、塾の夏期講習などでテキストを大量に貰いましたが、学校で買った「セミナー化学」に最も重点をおきました。入試では難しい問題を1問解くより、簡単な問題を早く正確に多く解くことのほうが重要です。セミナーに何度も出てくるような典型問題は、見た瞬間に解法が思い浮かぶように、長期休みのうちにセミナーを何周かやりました。特に、単元の最後に載っている「総合問題」は、二次試験対策に非常に役に立ったのでおすすめです。そして、無機化学など暗記系は後回しにせずコツコツ覚えていったほうがいいです。

谷口 晋亮

島根大学 総合理工学部 物理・マテリアル工学科

英語

私は、英語が苦手でした。苦手克服のためにしていた勉強、やっておくとよかった勉強は3つあります。1つ目は、長文読解を毎日することです。先生に長文読解の問題を貰いに行ったり、「やっておきたい英語長文」をやりました。2つ目は、単語です。長文を読むと分からない単語に出会うと思いますが一個ずつ覚えていけば大丈夫です。そして、発音も確認しながらやると一石二鳥です。3つ目は、イディオムを覚えることです。「Next Stage」を使いましたが、イディオムは得点源にもなり、長文読解をするときにも役立ちます。

森野 高晴

名古屋大学 工学部 化学生命工学科

全教科

全教科における苦手克服方法として、質ではなく量で学習する経験論的学習を推奨します。つまり苦手な問題の類題、関連問題を沢山見つけ、片っ端から解きます。四則演算など苦手なことでも繰り返すことでできるようになる経験をみなさんはしたことがあると思います。この方法には隠れた利点があります。ほとんどの大学入試問題には解法があり、結局暗記した解法の手数が勝負を決めます。だからこそ多くのこと問題に触れておくことが大事です。ひたすら関連問題を集め、解くうちに奇問、悪問に出会い、いい解法を見つけられます。旺文社の過去問データベースは無料で、分野別・難易度別に検索ができ、解答も揃っています。私はこれを利用して勉強しました。

金谷 歩実

早稲田大学 創造理工学部 建築学科

英語

私の苦手な教科は英語でした。それを克服するために行った勉強法は、苦手な単語力を伸ばすために、単語帳の単語のみを覚えるのではなく、そこに書かれている例文を和訳や英訳をし、文を作ることを繰り返しました。そうすることで文法力も身に付き、かつ文章力も身に付けることができました。そして英語の中で一番重要なことは毎日英語に触れることでした。1日に長文を1つ解き、そこで使われた単語と文法事項を完璧に覚えていきました。1日に数をこなすのではなく、時間をかけてもいいからその文章をきちんと理解すべきだと思います。

加えて、私は部活動を6年の10月末まで行ったので、時間の使い方には気を付けていました。空いた時間、具体的には10分休憩や昼休憩等で1問でも多く数学の小問を解き、1つでも多くの英単語を覚えるように努めました。

最後に、授業内で内容を完結し、次は無いという気持ちでその場で理解することが大事だと思います。

有坂 優輝

法政大学 デザイン工学部 建築学科

国語

私は6年生の春まで野球部に所属しており勉強と部活の両立をしなければならませんでした。部活に所属していなかった人に比べ勉強時間が少なかったため隙間時間を有効活用することを意識していました。私の場合は、昼休憩の休み時間に友達と英単語の問題を出し合っていました。部活を退部した後は苦手科目を中心に1日6時間塾で勉強しました。私はとくに国語が苦手な1日1題センター形式の問題を解くようにしていました。しかし、得点はなかなか思うように伸びず問題の解き方を変えてみたりして本番では見事に自己最高得点を取ることができました。結果が思うように伸びない時期は皆さんにも来ると思うので、その時は焦らずどがダメなのかしつかりと見極めて乗り越えてほしいです。そうすれば結果は必ず良くなります。これから、つらい時期がやってくるとありますが自分が大学で楽しんでいる姿を想像して乗り越えてください。努力した分結果は必ずついてきます。

西岡 凜

立教大学 社会学部 社会学科

現代文

私の苦手科目は現代文でした。国立(センター)対策としては、少なくとも1週間に3度は制限時間を決めてセンター形式の問題を解きました。形式が決まっているので、繰り返すことで自分の弱点がわかってくると思います。私立対策としては、大学毎に文章の長短、抽象度の高さなど特徴があり、また読解に混じって知識問題が多く出題されます。私は読解で安定した点を取ることに不安があったので、夏休みはかなりの勉強時間を漢字や語句の意味などの知識問題に時間を費やしました。ただひたすら量を重ねず、「1週間にこれだけ」というようにノルマを決めて少しずつ覚えていくことで、暗記を苦とは思わずに学習できると思います。

第109回全国高等学校テニス選手権大会

私は、この1年間インターハイ出場を目標にして、練習に取り組んできました。今回その目標を達成することができて本当にうれしかったです。3位決定戦は勝てばインターハイ出場という、とても緊張する試合で勝てたことは、私にとって大きな自信になりました。この自信を胸に、全国大会ではまず1勝できるよう頑張ります。応援よろしくお願ひいたします。

(5年4組 古谷 奏波)



日程：令和元年8月6日(火)～8日(木)

会場：KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園庭球場(宮崎市)

令和元年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会

私は今回の演技で見ている方々の脳裏に焼き付けるような演技ができたと感じています。8月のインターハイでは、たくさんの方々に魅了する演技ができるよう精一杯努力します。応援よろしくお願ひします。

(5年2組 河野 葵)

初めて参加したインターハイ予選でとても緊張しましたが、優勝できてうれしいです。応援して下さった先生方や、家族、友達に感謝しています。インターハイでは、悔いのない試合をしたいです。応援よろしくお願ひします。



日程：令和元年8月9日(金)～12日(月)

会場：沖縄県立武道館(那覇市)

CLUB NEWS

高校卓球部

●第68回広島県高校卓球選手権大会(個人)広島地区予選兼全国・中国高校卓球選手権大会広島地区予選
日程：平成31年4月27日(土)・28日(日)
成績：男子ダブルス
津田 亘輝(6-4)・上田 隼輝(4-2) 県大会出場

高校テニス部

●平成31年度第72回広島県高等学校総合体育大会 テニス競技(個人の部)広島地区予選
日程：平成31年4月20日(土)・21日(日)
成績：男子シングルス
安達 隆太郎(5-5)、大西 瑛士(6-5)、藤井 翔太(6-1)、三井 哲朗(5-2) 県大会出場
後藤 溪太郎(6-5) シード選手として県大会出場
男子ダブルス
後藤 溪太郎・大西 瑛士 県大会出場

●第72回広島県高等学校総合体育大会テニス競技(団体の部)広島県大会
日程：令和元年5月25日(土)・26日(日)
成績：男子団体戦 第3位 中国大会出場
女子団体戦 第5位 中国大会出場

●第72回広島県高等学校総合体育大会テニス競技(個人の部)広島県大会
日程：令和元年6月1日(土)・2日(日)
成績：男子シングルス
後藤 溪太郎 第4位 中国大会出場
男子ダブルス
後藤 溪太郎・大西 瑛士 第4位 中国大会出場
女子シングルス
古谷 奏波(5-4) 第3位
中国大会出場・インターハイ出場
松井 江美里(6-3) 第9位 中国大会出場
女子ダブルス
古谷 奏波・松井 江美里 第3位 中国大会出場

高校水泳部

●第72回広島県高等学校総合体育大会(競泳の部)
日程：令和元年6月1日(土)・2日(日)
成績：柘井 萌(5-1) 女子200m個人メドレー 第1位
女子800m自由形 第1位
原 歩那(4-2) 女子200m背泳ぎ 第8位

●平成31年度広島地区高等学校選手権水泳競技大会 競泳の部

日程：令和元年6月8日(土)・9日(日)
成績：男子200m自由形 第4位 県大会出場
高橋 幸大(6-4)
男子400m自由形 第7位 県大会出場
高橋 幸大
女子100m背泳ぎ 第7位 県大会出場
原 歩那
女子200m背泳ぎ 第6位 県大会出場
原 歩那
女子200m平泳ぎ 県大会出場
岬 涼寧(4-4)
女子100m平泳ぎ 県大会出場
岬 涼寧

高校陸上競技部

●第72回広島地区高等学校春季陸上競技選手権大会 兼広島県高等学校総合体育大会広島地区予選
日程：令和元年5月10日(金)～12日(日)
成績：男子走り幅跳
坂元 友斗(6-4) 第6位
男子三段跳
坂元 友斗 第5位
男子5000m
下田 汰知(5-6) 県大会出場
女子100mハードル
山田 千尋(5-4) 第5位
女子100m
山田 千尋 県大会出場
女子400mハードル
大城 さらら(6-3)・山本 乃愛(6-3) 県大会出場
女子4×100mリレー
望月 恵(6-4)・石松 桜杏(5-2)・山本 乃愛・山田 千尋・大城 さらら・村中 瑠莉(5-3) 県大会出場

●第72回広島県高等学校総合体育大会 陸上競技の部

日程：令和元年5月24日(金)～26日(日)
成績：男子三段跳び
坂元 友斗 第6位 中国大会出場
女子100mハードル
山田 千尋 第4位 中国大会出場

中学テニス部

●平成31年度広島市中学校テニス選手権大会
日程：令和元年6月1日(土)・2日(日)
成績：男子団体戦 ベスト8 県大会出場
男子個人戦ダブルス
寺川 陽基(3-6)・岡田 知怜(3-6) 第3位 県大会出場
山本 陽(3-3)・横山 航大(3-6) ベスト8 県大会出場

中高放送部

●第66回NHK杯全国高校放送コンテスト 第60回広島県大会西部地区予選
日程：令和元年5月26日(日)
成績：岸本 真依(4-4) アナウンス部門 県大会出場

中学陸上部

●平成31年度広島市中学校陸上競技選手権大会
日程：令和元年6月8日(土)・9日(日)
成績：1年男子1500m
横本 陽之輔(1-2) 第1位 県大会出場
2年男子100m
古中 睦人(2-5) 第5位 県大会出場
庄司 暁人(2-5) 第6位 県大会出場
一部男子400m
美藤 幹汰(3-5) 第7位 県大会出場
一部男子110mハードル
村上 諒(3-3) 第5位 県大会出場
一部男子4×100mリレー
古中 睦人・庄司 暁人・村上 諒・美藤 幹汰 第3位 県大会出場
一部女子100mハードル
松本 華輪(3-4) 第5位 県大会出場
一部女子走高跳
武田 玲奈(3-3) 第4位 県大会出場

社会体育

●第72回広島県高等学校総合体育大会なぎなた競技
日程：令和元年6月2日(日)
成績：演技の部
八木 優希子(4-5)・河野 葵(5-2) 優勝 中国大会出場・インターハイ出場
個人の部
八木 優希子 ベスト8 中国大会出場
河野 葵 ベスト8 中国大会出場